

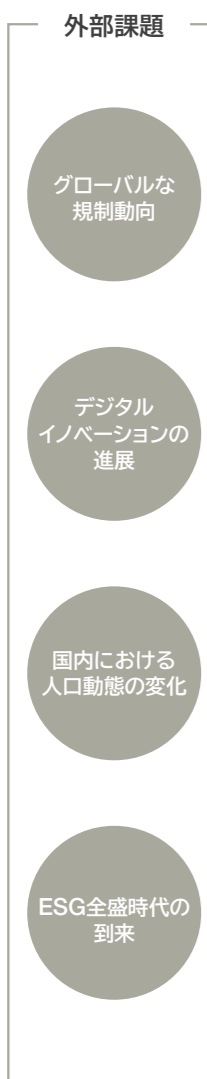
創業以来受け継がれる 真に豊かな社会の創造への貢献



野村グループは、日本の金融界の牽引役として、1925年の設立以来、資本市場の発展を支え、リスクマネーの循環を促すことで、常に経済成長や社会的価値の創出に貢献してきました。その根底に脈々と流れるのは、創業者である野村徳七が定めた「創業の精神」であり、「野村グループ企業理念」にも明記されている「金融資本市場を通じて、真に豊かな社会の創造に貢献する」という社会的使命です。

気候変動や社会的格差の拡大等、環境・社会課題が深刻化するなかで、これらに一層配慮した経済成長が求められています。豊かな自然環境と健やかな社会環境は、経済やビジネスの発展、人々の暮らしにとっての基盤であり、「真に豊かな社会の創造に貢献する」という野村グループの社会的使命もまた、この基盤なくしては成し得ません。

この地球・社会環境を取り巻く現状において、お客様をはじめ、社会の持続的な発展に資するとともに、企業価値を維持・向上していくために、今回、ESG委員会を中心に、経営の課題と従来のESG重要課題を統合的に見直し、「野村グループ経営の重要課題 (マテリアリティ)」として特定しました。



カテゴリ	重要課題	関連項目	目指す姿
コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンスの強化	取締役会の多様性 役員報酬へのコンプライアンス等の定性的な要因の反映	企業価値の向上を目指すうえで、コーポレート・ガバナンスは最重要課題のひとつであり体制の強化、充実に取り組んでいきます
コンプライアンス	行動規範の浸透と運用態勢の構築 法令遵守と違反の報告 公正な金融取引の徹底 贈収賄の防止 金融犯罪対策	内部通報件数 コンプライアンス研修実績 倫理規程の遵守状況 社外交流についての周知徹底 運用態勢の構築の進捗状況	法令遵守の徹底および社員の規範意識の向上に取り組み、社会との信頼構築、企業価値の保護と向上につなげます
リスクマネジメント	リスク管理体制の整備・強化 財務の健全性と透明性の確保 業務のレジリエンス 環境・社会リスクへの対応	リスク・アパタイトのモニタリング	財務の健全性と企業価値の向上には、さまざまなリスクの適切な管理が不可欠です。グローバルで統合的にモニタリングや報告を行うリスク管理体制を構築してまいります
多様性を尊重した人材の育成	人材の育成 ダイバーシティ&インクルージョンの推進 働きやすい職場環境の整備	社員満足度調査 教育研修費 女性管理職の人数／育児介護支援諸制度利用実績	イノベーションやデジタル化等、環境変化において多様で優秀な人材は、最大の「財産」です。社員が能力や個性を発揮し、活躍できるよう取り組み、付加価値の高いサービスを提供してまいります
健全かつ持続可能な資本市場への貢献	幅広い層への高品質な金融サービスの提供 環境・社会的課題に対応する商品・サービスの提供 顧客保護と情報セキュリティの確保 金融リテラシーの向上	顧客満足度 苦情件数 サステナブル・ファイナンスの発行額 金融・経済教育の提供実績 サステナブル投資比率	ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、本業を通じて、付加価値の高い課題解決策の提供を行い、企業理念を実現してまいります
ビジネスの選択と集中	ビジネスポートフォリオの柔軟な見直し	リソースの最適配分 生産性の向上 EPS	変化するお客様のニーズや社会の要請に応じて、常にビジネスの選択と集中を行い、最適なソリューションやサービス、価値をお届けするとともに、企業価値を高めます
持続可能な地球環境への貢献	環境保全活動の推進 事業活動を通じた気候変動対策や自然資本の保全	CO ₂ 排出量	健全な地球環境は、経済・社会はもちろん、当社の持続的成長の基盤です。中長期目標：2030年度 32%減、2050年度 65%減
持続可能な地域社会への貢献	グローバルでの取り組み ステークホルダーとの対話 人権の尊重	社会貢献支出額 ステークホルダーとの対話実績	ステークホルダーとの継続的な連携を通じて社会・環境課題に貢献してまいります

